

セミナー レポート エコ配

環境に配慮した宅配サービスを提供するエコ配(本社東京都片地区人社長、☎03-3539-3881)は7月31日、「第1回 物流セミナー」を開催した。セミナーには約40人が参加。計量機器メーカー・タニタの前社長で、エコ配の取締役会長を務める谷田大輔氏が基調講演し、これまで手掛けてきた経験に基づく「経営再建論」を



近藤社長は物流業界の現状を解説

物流セミナーを開催

谷田大輔会長が「経営再建論」を語る



谷田会長はタニタを再建させた経営手法を紹介

語った。

物流セミナーは三部構成で開催された。第一部では、谷田氏が、「赤字会社が世界一！タニタの経営再建論」をテーマに基調講演を行った。谷田氏が社長に就任した時のタニタは赤字だったという。谷田氏は多角化していた事業を計量器の製造事業に集約。さらに計量器メーカーで世界一を目指し、他社製品にはない機能を開発した。そこから体脂肪計などを開発し、タニタを世界的企業に押し上げたという。

講演では、タニタで取り組んだ物流戦略についても紹介した。さらに、エコ配が取り組む物流業界における挑戦について

も解説した。

第一部では、ロジコンシエルの近藤正幸社長が、「通販配送に関する意識調査から見る物流業界の現状」をテーマに講演した。近藤社長は佐川急便でセールズドライバーを務めた後、同社営業店の運営や商品企画などを経て、コンサルタントとして独立した人物。講演では日本流通産業新聞が今年4月に取りまとめた「通販配送に関する意識調査」の結果を基に、通販会社が求める宅配サービスの現状を解説した。さらに、大手宅配会社の配送実績を分析し、各社の現状や、事業方針に対する分析結果も紹介。「通販会社は、複数の宅配会社を併用することにより、配送コストを削減したり、サービス内容を充実させたりできると話した。

第三部では、エコ配・事業本部長の前田悟氏が、低コスト配送サービス「エコ配」の特徴を紹介した。集荷エリアとサイズすることに「コスト削減」と「環境配慮」を両立していることなどを解説した。

今年7月にこれまでの貨物取り扱い個数が1億個を突破したことを受けて、東名阪エリアへの翌日配送を1個あたり250円で請け負うキャンペーンを実施していることも紹介した。

エコ配では今年10月、「第2回 物流セミナー」の開催を計画している。次回にはフルフィルメントの活用事例や、越境ECなどに関する講演を企画する予定だという。